

令和2年度当初予算

# 市長説明

前橋市



令和2年度当初予算案の概要について、ご説明申し上げます。

令和2年度当初予算編成においては、計画期間の3年目を迎える「第七次前橋市総合計画」に位置付けた事業の着実な推進や、これまで進めてきた地方創生に関する事業、さらにはまちづくりのキーワードである「地域経営」の取組を進めることを基本として、本市が未来に向かって更なる一步を踏み出せるような予算として、まとめたところであります。

それでは、当初予算案の概要について、ご説明申し上げます。

本市の令和2年度一般会計の歳入歳出予算は、

1,443億2,309万円で、対前年度では0.2%の増となっております。

はじめに、歳入であります。市税収入のうち個人市民税は、県内景気の動向等を踏まえ、前年度と比べ

約3千万円の増額を見込んでおります。一方、法人市民税は、税制改正による法人税率引き下げの影響等により、約9億3千万円の大幅な減額を見込んでおります。

固定資産税は、新增築家屋の増加等により、約4億4千万円の増額を見込んでおります。

これらに、都市計画税や事業所税等を合わせた市税収入全体では、対前年度0.2%減となる約536億円を見込んでおります。

次に、地方消費税交付金は、昨年10月の消費税率の引き上げによる影響が現れることから、約10億9千万円の増額を見込んでおります。

地方交付税は、合併特例措置の段階的終了に伴い、減少傾向が続いておりましたが、幼児教育・保育の無償化などの社会保障関係経費が増となっている影響から、対前年度で10億円の増額を見込んでおります。

国庫支出金は、子どものための教育・保育給付交付金の増等により、約2億5千万円の増額となっております。

ます。

市債は、臨時財政対策債や新たな道の駅整備等の増要素はあるものの、六供清掃工場の延命化工事や消防の通信指令システム更新といった事業の終了による減要素が大きいことから、前年度と比べ約1億7千万円の減額となっております。

次に、歳出であります。第七次総合計画における6つの「まちづくりの柱」に沿って、主要な事業や、関連する事業についてご説明いたします。

## 1 教育・人づくり

多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、あらゆる世代が共に学び、支え合えるまちづくりに取り組んでまいります。

「個性を伸ばし、主体性を育む人づくり」、「学び合い、高め合う人づくり」では、中学生を対象とした地域寺子屋事業を市内全ての中学校区で実施し、地域

住民の力を借りながら、生徒主体の学習活動を引き続き進めるとともに、教員が子供と向き合う時間の更なる確保のため、小学校の教科指導講師と中学校の校務補助員を増員いたします。

また、学校において様々な問題が発生した際に、弁護士から法的な側面で支援を受ける「スクールロイヤ一事業」を新たに開始し、円滑な学校運営を図ってまいります。

このほか、学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組む「前橋版コミュニティスクール」として、学校支援協議会制度を推進してまいります。

学校教育施設の整備では、春日中と広瀬中の統合校である明桜中の校舎大規模改造工事や体育館新設工事等を引き続き実施し、令和3年4月の開校に向けた準備を進めてまいります。

社会教育施設の整備では、老朽化した永明公民館の移転新築に向け、本体工事に着手いたします。

前橋工科大学では、校舎の空調設備改修を引き続き

実施し、教育研究環境の向上を図ってまいります。

「ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり」では、国指定重要文化財である阿久沢家住宅の耐震診断や、臨江閣の維持補修等を進めるとともに、市内の文化財を活用したイベントの開催等、適切な保存と活用を通じ、文化財を市民全体の宝として後世に伝えてまいります。

また、アーツ前橋、前橋文学館では、様々な企画展等の開催を通して、市民の芸術文化活動を引き続き推進してまいります。

## 2 結婚・出産・子育て

結婚や出産の希望をかなえられ、子育てを楽しむことができるまちづくりに取り組んでまいります。

「結婚や出産に対する支援の充実」では、男女の出会いの場を創出する団体への支援の継続と連携強化を図るとともに、不妊や不育症の治療を行う方への助成を充実いたします。

「子育て支援の推進」、「子育てと仕事の両立支援」では、産後の疲労や育児への不安を抱えた産婦へのケアに加え、産後うつ予防など母親の健康管理を目的として、新たに産婦健康診査を実施いたします。

また、本市が独自に行っているおたふくかぜの予防接種費用の無料化や、第3子以後の保育所等の副食材料費の無料化を継続実施することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ってまいります。

さらには、民間保育所や認定こども園において子供の見守りや事務補助などを行う、保育支援員の配置を新たに支援し、保育士の働きやすい環境づくりと保育体制の強化を推進いたします。

このほか、放課後児童クラブを増設して子供が安心して過ごせる環境を整備するとともに、市内4か所目となる病児保育施設を開設し、働きながら子育てできる環境をさらに充実いたします。

### 3 健康・福祉

生涯を通じた健康づくりを推進するとともに、誰もが自分らしく生きがいを持ち、共に支え合いながら活躍できるまちづくりに取り組んでまいります。

「地域包括ケアの推進」、「健康づくりと介護予防の推進」では、地域における支え合いの体制づくりを進めるため、地域の課題解決に役立つ高齢者支援サービスや、地域において日常的に行われている助け合い活動等の情報を一元管理・公開する仕組みを整えるとともに、前橋版生涯活躍のまちの推進として、日赤病院跡地への夜間急病診療所等の移転新築に向けた施設の設計に着手いたします。

また、各種健康診査及びがん検診の受診率向上に引き続き取り組むとともに、生活保護受給者への健康診査結果に基づく保健指導等を新たに実施することにより、生活困窮者の健康増進と自立支援を図ってまいります。

障害者福祉では、在宅の重症心身障害児者の介護者

の負担軽減を図るため、訪問看護を行う看護師が日常生活の世話等を行う「要医療重症心身障害児（者）訪問看護支援事業」を開始いたします。

また、令和3年度からの3年間を計画期間とする、「第6期前橋市障害福祉計画及び第2期前橋市障害児福祉計画」を策定いたします。

#### 4 産業振興

市民それぞれが個性を活かして活躍できるビジネスチャンスにあふれたまちづくりに取り組んでまいります。

「地域の産業の活性化」では、若者のU I Jターンなどを引き続き推進するため、高校生を対象とした体験型企業説明会「ミライバシ2020」を、民間企業との共催で実施いたします。

また、新たな分野への事業展開を図る事業者に対する助成制度を創設するとともに、設備投資に対する補助を継続実施し、地域産業の経営力強化を図ってまい

ります。

企業誘致では、新たな産業用地として、「（仮称）西善中内産業用地」を造成するほか、「（仮称）駒寄スマートＩＣ周辺産業団地」の環境アセスメント調査に引き続き取り組んでまいります。

「働く意欲と機会の創出」では、ジョブセンターまえばしを拠点とした就職支援を引き続き実施するとともに、事業者が行うテレワーク環境の整備に対する補助を継続し、多様な働き方の促進と働きやすい環境づくりに努めてまいります。

「魅力ある農林業への転換」では、農業の担い手の確保・育成のため、認定農業者等に対する機械や設備の導入支援を継続するとともに、養蚕業の担い手が行う機械の導入に対しても助成を実施いたします。

このほか、前橋産農畜産物の販売促進や、畜産農家の家畜導入に対する助成及び家畜伝染病の防疫対策等に取り組む、農業所得の向上や農業経営の安定に努めてまいります。

ほ場整備では、老朽化した農業用水路等の長寿命化のための改修工事に取り組むとともに、上細井<sup>ちゅうせいぶ</sup>中西部地区の土地改良事業をはじめとした農村環境の整備を引き続き進めてまいります。

## 5 シティプロモーション

地域の魅力を創造・発信し、誰もが訪れ、住み続けたいくなるまちづくりを進めてまいります。

「地域資源を活かした新たな観光振興」では、上武道路の「道の駅」について、敷地造成工事等を進めてまいります。

また、赤城山観光の担い手となる観光地域づくり法人（DMO）の活動を引き続き支援し、豊かな自然環境と地域資源を活かした観光誘客に努めるとともに、赤城南麓地域におけるスローシティの取組を推進してまいります。

歴史文化遺産の活用では、前橋四公祭等のイベントを開催し、本市ゆかりの歴史と文化に立脚した地域づ

くりを推進いたします。

スポーツ振興では、7月に開催となる東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、関係各国の直前合宿等を受け入れるとともに、8月に本市で開催される全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の空手道、サッカー両競技の運営を支援してまいります。

このほか、市民球場の拡張工事や、大渡体育館の改築工事、市民体育館の観客席増設工事など、スポーツ施設の整備にも引き続き取り組んでまいります。

「移住・定住促進」では、移住コンシェルジュとの連携や、地域おこし協力隊を活用した地域づくりの取組を継続するとともに、空き家のリフォームによる二世帯近居・同居を引き続き支援し、ソフト・ハード両面からの移住・定住促進を進めてまいります。

「市民主体の魅力づくりの推進」、「魅力的なまちづくりの推進」では、中心市街地における民間再開発事業の支援や、広瀬川河畔の再整備などに計画的に取

り組むとともに、まちなかにおける開業支援等により、まちなかの魅力向上と中心市街地の活性化を図ってまいります。

## 6 都市基盤

人口減少・少子高齢社会に対応した都市基盤を構築し、将来にわたって安全で安心して暮らせるまちづくりを推進いたします。

「都市機能の集約と拠点性の向上」では、機能的な土地利用や防災機能の向上を目指し、12地区における土地区画整理事業を引き続き進めてまいります。

「交通ネットワークの充実」では、バス路線等の再編に向けて、運行本数やダイヤといった具体的内容の事業者調整や住民説明会等を実施するとともに、バスや電車といった市民のあらゆる移動手段を最適化する取組である「前橋版<sup>マ</sup>a<sup>-</sup>a<sup>ス</sup>S」のシステム整備をさらに進めてまいります。

また、上毛線片貝駅に新たに東口を開設するととも

に、群馬総社駅西口の開設に向けた調査を実施し、公共交通の利便性向上と暮らしやすいまちづくりに取り組んでまいります。

道路整備では、新市建設計画及び新市基本計画に位置付けられた路線の整備や、橋りょう及び舗装の長寿命化修繕計画に基づく維持修繕などに計画的に取り組む、持続性の高い都市基盤づくりを推進してまいります。

「環境配慮型社会の形成」では、太陽光発電や小水力発電による売電収入を原資とする「絆でつなぐ環境基金」を活用し、家庭における新エネルギー・省エネルギーの導入に対する補助や、公園緑地愛護会活動への助成の拡充により、環境対策に取り組む市民や団体を広く支援いたします。

また、大規模な地震や風水害により発生するがれきや家財等の廃棄物を適切に処理するため、災害廃棄物処理計画を策定いたします。

このほか、新最終処分場の建設に向けて、基本計画

の策定に着手いたします。

「安全・安心なまちづくりの推進」では、災害に強いまちづくりを進めるため、国や県に準じ、前橋版「国土強靱化地域計画」を策定いたします。

また、指定避難所となっている小中学校体育館へのテレビの設置及び屋外トイレの洋式化を進め、避難所の環境整備に取り組んでまいります。

このほか、消防力の充実・強化のため、西消防署利根分署の建替工事を進めるとともに、計画的に消防車両を更新いたします。

水道事業では、災害発生時に重要な役割を担う病院及び防災拠点などに給水する管路の計画的な耐震化を進めるほか、敷島浄水場の配水塔築造工事を引き続き実施いたします。

下水道事業では、緊急度の高い重要な下水道管渠かんきょの耐震化を計画的に進めるとともに、六供町の水質浄化センターの更新に向けた基本設計に着手いたします。

このほかの都市基盤として、公園整備では、家族形

態の多様化等に対応した、墓地の承継が不要な新たな永代供養墓として、嶺公園内に樹林墓地を造成し、令和3年度の方譲に向けた準備を進めてまいります。

これらのほか、行財政運営の面では、令和元年度からの新たな行財政改革推進計画に掲げた「民間委託等の推進」、「業務改革・事務改善」、「公共施設の効率化・最適化」の3つの方針に基づき、具体的な取組を進めてまいります。

以上が予算に盛り込んだ主要な施策であります。

本市においては、市税収入など歳入面での大幅な増加は難しい中で、子育て環境の充実や高齢化に伴う医療・介護等の社会保障費の増加に加え、計画している大型事業に多額の費用が見込まれております。このため、財政の健全化に引き続き留意しながら、本市が「新しい価値の創造都市」を目指して、更なる発展を続けるために、職員が一丸となってそれぞれの施策に取り組むとともに、市民の皆さんと手を取り合って、まち

づくりに全力を注ぐことが、これから４年間の市政の舵取りを任された私に課された使命だと考えております。

議会の皆様におかれましても、引き続きご支援、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上、当初予算案の大要について、ご説明いたしました。

